

ふじぎくら



やまなし女性のチャレンジ・シンポジウム
(1月30日)



やまなし女性の知恵委員会
(10月27日)

目次

- やまなし女性のチャレンジ・シンポジウム 2
- 推進リーダー意見交換会 5
- DV啓発事業 6
- 上高砂地区の活動 6
- チャレンジインタビュー 7
- やまなし女性の知恵委員会 8
- ヤングリーダー会議 8
- 『ぴゅあ』の一年 9
- 県からのお知らせ 12



やまなし女性の チャレンジ・シンポジウムを開催しました!

1月30日、ぴゅあ総合において、コーディネーターに中央大学教授の広岡守穂さん、パネリストにはNPO法人「スペースふう」理事長の永井寛子さん、「space"もやい"」代表の溝呂木百合さん、「あんふぁんねっと」の渡辺聖香さんの3名をお迎えし、「地域で活動しています! ~私にできることから始めよう! ~」をテーマにシンポジウムが行われました。また、会場後方には、パネリストの活動紹介と併せて、県内外で活動している団体を紹介する情報提供コーナーを設けました。

シンポジウムの記録は、男女共同参画課のホームページに掲載していますので、併せてご覧ください。

● 広岡守穂教授の言葉

講演から

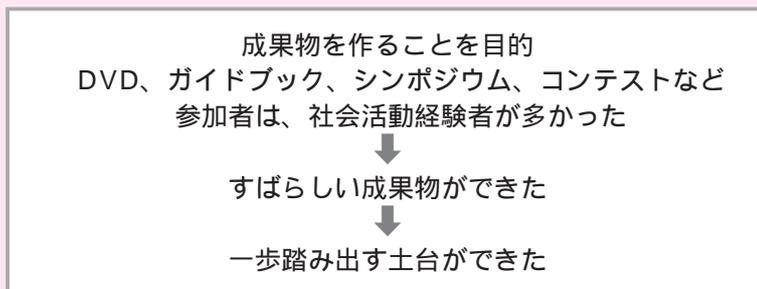
【男女共同参画の取組】

意識を変えるのではなく、もう一步さらに進んで社会参画を進めていく、今日のまさにチャレンジを応援していくということではなければならない。

実践的な発想が、今、男女共同参画に必要なのではないかと学び、気付きだけにとどまらず、一步踏み出すことが非常に大事だとかねがね思っている。



やまなし女性未来塾



やまなし女性未来塾とは?

広岡守穂教授を塾長にお迎えし平成17年度から平成19年度までの3年間、地域のキーパーソンとなる女性の養成を目的として、開催しました。

実際に何か学んだというより、そこで出会った方から学んだということがすごく大きい。

何か学ぶというより、そこでの出会いがはるかに大きな意味を持つ。

その人その人がソーシャルキャピタルを持っているかが重要 人間関係のネットワーク

チャレンジしていく女性たちを応援し、背中を押し、先に進んでいただくための仕掛けをこれからつくっていかなければならない。

シンポジウムから

一人一人が何か新しい社会システムを提案するようなアイデアやテーマをきっと持っている。

ネットワークの力で、お互いに支え合い、助け合い、労働力を投資するという形で頑張っていこうという頑張り、いろいろな要素が必要だとつくづく感じた。

自分のテーマを大きな形にして、そして、提案していき、新しい社会システムをつくる、女性の力で新しい社会システムをつくっていく、そういう課題に取り組んでいただきたい。

人とのつながりがすべてを可能にする

永井 寛子さん

シンポジウムの心に残る言葉

・柱は常に「地域を活性化しよう」ということで、軸足は増穂町に置き、環境、福祉、教育、文化の4つのちょっと欲張った柱を立て、自分たちでこれをやりたいというのがあり即行動です。

・できないんじゃないで、できるんです。何でできるかという、人とのつながりだと思います。私たちは自分たちにはできないけれども、手はいっぱいあるんです。周りのそういう人間と関係を持っていけばすべて可能になるということを、私はこの何年かで学びました。

・私たちは熱い思いだけでやっていましたが、今度は社会的責任ということを感じることになりました。

・大風呂敷を広げることが大切なんだと思っています。最近では、大風呂敷では足りなくて、「ブルーシート」と言われます。これを広げて、実現できるかどうかわからないけど、モチベーションを高め、その仲間の数人が常に「やろう」「やろう」と言っているうちに実現するんです。

・「リユース食器で日本を変える。」- 日本を変えることができる力を持つかもしれない、ライフスタイル、使い捨てというライフスタイルをリユースへというきっかけをつくることになるかもしれません。



リサイクルショップ「スペースふう」

ドイツの先進的環境事例の講演を聴く
地域活性化
リユース食器のレンタル事業を提案
全員反対！1年間の調査研究
甲州増穂まつり リユースどんぶり
リユース食器事業に徐々に転換
環境コミュニティ・ビジネス事業採択
経済産業省との出会い
菜の花エコプロジェクト
小瀬エコスタジアムプロジェクト
環境省との出会い
リユース食器フォーラムinますほ
増穂町との共催
リユース食器ふうネット
広域ネットワーク、全国への広がり

出会っていく、つながっていくことを大事に

溝呂木 百合さん

シンポジウムの心に残る言葉

・若い頃は、地域のことに全然関心がなかったんですけど、子どもを産んでみると、地域と関わらないと生きていけないということがわかったんです。

・いい街に住みたいという思いがすごくあって、いい街にするには、いい街になっていくにはどうしたらいいのかなど、待っていても何も変わらない、自分で動くしかないのではないかと、いう漠然とした思いを持っていました。

・人と出会うことが楽しくて、この10年間は人と人との出会いを築いてきたんだと思います。

・躊躇しないといいますが、深く考えてしまえば怖いです。気持ちだけで行ってしまうというのも、スタート時点では大事だと思います。

・設立からメンバーは出資をしている状況にあります。出資をしても維持していきたいという思いは持っています。

・一つ大事なのは、自分が思っていることは口に出すことだなと思います。誰かと出会っていく、繋がっていくということを大事にしてほしいと思います。



都内で設計士として働く

地元上野原の男性と結婚、出産
地域との関わりの重要性に気付く
活動拠点を上野原に移す

講座などに参加し、人との出会いの楽しさを知る

人との出会いを築く

「男女共同参画」の活動
・女性いきいきアドバイザー
・男女共同参画推進リーダー
・男女共同参画策定委員会、
男女共同参画推進委員会など
女性がステップアップしていく
手段として有効

Space"もやい"立ち上げ
・講座の企画運営、レンタルボックスの
貸出、委託販売

人との出会いが一番大事..

渡辺 聖香さん

シンポジウムの心に残る言葉

・社会的地位、人間関係、友人関係、それが「あんふぁんねっと」の大きな原動力となり、私たちが活動するステージを与えてくれたのだと思っています。

・長い経験の中でやっていくにはいろいろな方と関わることも大切だし、メンバーの交代があるのも仕様が無い、女性ですので、家庭的な問題や仕事など、いろいろなことが絡んでくると思います。

・できる人ができない人の分もカバーしてみんなで前に進もうじゃないかと、この考えできたので、何とか今日までやってこれたと思います。

・人との出会いが一番大事だったかなと思います。広岡先生もおっしゃったように「犬棒方式」ですね。「あんふぁんねっと」も歩けば棒にたくさん当たりました。いい棒でもあったり、感謝の棒でもあったり、泣く棒もあったんですが、とにかく外に出なければ何も始まらない、そのきっかけはいろいろあると思います。

・まず何か始めようという気持ちが大事で、それを実現するためには一歩踏み出すことだと思います。



子どもの「保育園に行きたい」の一言から就職

外に出るきっかけ

海外経験

- ・職場旅行
- ・マーシャルタウンにホームステイ
- ・生活協同組合コープやまなし理事として海外視察
- ・やまなし女性リーダー海外研修

子育て研究

やまなし女性未来塾に参加

- ・Aグループ成果物作成
- ・「子育て支援はだれのため？」

子どもを中心とした視点

- 「あんふぁんねっと」として活動開始
- ・子育て支援を中心に県内で活動
- ・「ノーパディパーフェクトプログラム」講座

情報提供に御協力いただいた県内の団体 女性が中心となって積極的に活動しています。

『やまなしし朝の市の会』(山梨市)

駅前活性化と人々の交流の場づくりを通して、まちづくりを考えています。

"みんなのおみせひとやすみ"を運営。

ボックスショップ、レンタルスペース、喫茶・食事コーナー、農産物の販売など

『やまなし地域・防災コーディネーション倶楽部』(甲府市)

防災女の手帳(地震編)を作成

母子手帳サイズの手軽なサイズで、多くの情報を取捨選択し、特に女性の視点を組み入れることにより、より実際的な日頃の備えや地域の防災対策について学習できる内容となっています。

『NPO法人ワーカーズおへそ』(南アルプス市)

「おへそ」はみんなで作るおみせです。

環境を大切にしたい 地域に貢献したい 居心地のよい空間を提供したい いくつになっても働きたい 育ちあうことを大事にしたい 誇りを持って豊かに働きたい 安心安全な食品を伝えたい。こんな想いから始まりました。

お弁当、リサイクルショップ、喫茶&食事など

『ワーカーズ・コレクティブ パク・ぱく』(甲府市)

『NPO法人てくてく』(甲府市)

安全性や環境面に配慮しながら、家庭の味を大切に、弁当や惣菜を、安心素材からすべて手作りして、お店で販売しています。

自分達で作ったお店だから、自分達で何でも話し合っ て決めていきます。 夢を形にできる、やりがいのある仕事です。

『障害福祉サービス事業所「ハーモニー」』(笛吹市)

障害をもつ子どもの卒業後の活動の場所がないことから、保護者が障害者通所授産施設を創設。

パン、クッキー、ピーズの作品などを作っています。

『Little Beans Club』(山梨市)

温暖化を止めたい。食べ物の安心と安全を守りたい。健康で幸せな暮らしをしたい。世間で騒がれている様々な問題をなんとかしたい...そんなシンプルな想いからリトルビーンズクラブはスタート。

それぞれの取り組みの情報提供、交換の場として、お互いが「育って」いくことができたらと思っています。

男女共同参画推進リーダー意見交換会を開催しました!

2月4日に男女共同参画推進リーダー意見交換会を開催しました。地域で男女共同参画を推進するために県が委嘱している推進リーダーと市町村担当者が出席し、活発に意見交換を行いました。

まず、都留市政策形成課の鬘櫛美咲さんから、都留市の男女共同参画推進に向けた活動状況の報告がありました。この中で、女性のエンパワーメントの向上を目的に行っている「女性政策塾」が紹介され、「行政や推進委員など一部の人が男女共同参画を推進していくだけでは地域に広がらない。今後、地域における推進体制を充実させていくためには、人材育成やネットワークが鍵になる」とお話されました。



その後、別々の市町村の人が集まった6名ほどの小グループに分かれ、「今年度の活動を振り返って」をテーマに意見交換を行いました。皆さんとても熱心に話し合いをしている姿が印象的でした。全体発表では、「家族全員が役割分担を持ち、助け合うことが男女共同参画の第一歩」「市町村と県の連携強化が必要」「楽しく推進活動を行うことが大事」など、様々な意見が発表されました。

最後は市町村ごとのグループに分かれ、他地域の方々との意見交換の内容を参考に、今後自分たちの地域でどのように男女共同参画の推進に取り組んでいくのか話し合われました。

推進リーダーからは、「意見交換をしたことで、自分の活動状況を把握することができた」「他地域の方々いろいろな取組を聞き、すごく参考になった」などの感想が寄せられました。



県民の心をひとつに『STOP DV』



県は、昨年秋、配偶者からの暴力をなくす運動「広げる・つなげる・結び合うやまなしパープルリボンプロジェクト」を実施しました。



2m x 2.4mの大きな富士山。
リボンを貼りつけ手づくりしました。

パープルリボン募集と企画展示

DVや虐待など、個人の間にある暴力をなくすことに関心を持ってもらうための「パープルリボン」を県民から募集したところ、多くの団体、個人の方々から1万枚を超えるリボンが寄せられました。

「暴力は絶対ダメ」という思いが込められた色とりどりのリボンを、大きな「富士山キルト」に形作り、DVに関する情報とともに、男女共同参画推進センターぴゅあ総合に展示しました。

キルトは現在もセンター1階ロビーで見ることができます。是非ご覧ください。

朗読劇・講演会「みんなの笑顔がみたいから」(11月19日)

プロジェクトの中心イベント「みんなの笑顔がみたいから」では、DV・虐待にまきこまれた子どもたちの手記による朗読劇の公演や、「あなたと、子どもたちの笑顔のために」と題した西澤哲さん(県立大学教授)の講演が行われました。



朗読劇「静かな慟哭」～五陰盛苦～

参加者から寄せられた感想

- 朗読の言葉が刺さってくるようだった。DVや虐待、親子、家族についてとても考えさせられた。
- DVと虐待、いずれも専門家に任せるばかりでなく、市民も意識を持ち活動していくことが大切。
- どういう状況であっても暴力は許されない。自分は絶対にDVも虐待もしないと心に強く決心した。

上高砂まちづくりプロジェクト

南アルプス市上高砂地区(清水武秀区長)では、魅力あるまちづくりを目指そうと、住民有志がプロジェクトに取り組んでいます。このプロジェクトは、山梨県、南アルプス市、山梨大学が連携して行う地域活動活性化支援事業「男女共同参画を基盤とした地域まちづくりプロジェクト」のモデル事業として、平成19年4月にスタートしました。定期的に会合を開き、暮らしの中の様々な課題についてみんなで考え、アイデアを出し合い、地域活性化、住みよいまちづくりを進めています。



大人も子どもも参加したフリーマーケット

今までにこんなことしました!

- 区内散策
- フリーマーケット
- 県外視察
- 「まちプロ」として文化祭に参加
- 『まちプロ通信』発行
- ワークショップ



文化祭

チャレンジインタビュー



Vol.44

【園芸農業】みんなで農業を盛り上げよう!

佐藤 裕子さん 堀内洋蘭経営 (富士吉田市)

堀内洋蘭では、胡蝶蘭、ピオラをはじめ、様々な花壇苗が栽培されています。「買った花がすごくもったよ!すごいから見に来て!」など、花を買った方から嬉しそうに話をされたときは、何よりもやりがいを感じると言います。「楽しいから、好きだから続けられています」と笑顔で語る姿がとても印象的でした。

短大の園芸生活学科で、2年間、野菜、果樹、花き、畜産などの知識・技術を幅広く学びました。卒業後は、両親が営んでいた農園を手伝っていましたが、当時は「農家の家に育ったので当たり前で農業をやるものだ」というくらいにしか考えていませんでした。

「昔は人見知りだった」と佐藤さんは言います。結婚後、「自分の気持ちは口にしないと伝わらない」という夫の言葉をきっかけに、積極的に外へ出るようになりました。このことが、佐藤さんにとって大きな転機となりました。

そのころから、農業関連の講座に積極的に参加するようになり、様々な人との出会いを通じて、ネットワークを広げていきました。平成14年からは、県の「農村女性アドバイザー」に認定され、地域の女性リーダーとして、クラフト体験教室で障害をもつ人に自然の材料を使ったクラフトづくりを教えたり、地域の仲間と共に味噌づくりに取り組むなど、農業・農村における男女共同参画社会の実現に向けて活動しています。

平成16年に両親から農園を引き継ぎ、「変われるかな」「何かしたい」との思いから、起業を目指す農村女性を支援する講座「パワーアップスクール(現パワフルウーマンセミナー)」を2年間受講しました。この講座には、新規就農を目指すなど、志の高い人たちが周りに多く集まったことから、今まで自分の考えが甘かったことに気付かされ、自分自身を見直す良い機会となりました。

「なるべく多くの人に自分の育てた花を直接見に来ていただきたい」という思いから、現在、ITを活用した女性のための起業支援事業「やまなしときめきネットショップ」に参加しています。きっかけは、「パワーアップスクール」の卒業生でつくる「山梨きら星ネット」の仲間から声を掛けられたことです。講習では、「こんなにパソコンに向かったことはない」というくらい一日中パソコンに向かいながら四苦八苦しました。今年3月からネットショップ「ガーデンひろ」で花の販売を始めます。今後は、花の育つ様子をブログに載せることで、もっと多くの方に興味を持ってもらい、販売を増やしていきたいと考えています。

また、遊休農地の活用と織物業の活性化を目指す、富士吉田市内の織物会社「フジチギラ」との共同事業が、昨年12月に国(農林水産省、経済産業省)から農商工連携事業に認定されました。佐藤さんが遊休農地で染料となるアカネを栽培し、フジチギラはアカネの染料を使って服飾品を開発・販売します。今年6月までにアカネ7千本の株が必要となるため、現在準備を進めています。今後は、農業仲間にも手伝ってもらい、事業の裾野を広げていきたいと考えています。

平成19年に県の「やまなし女性の知恵委員会」委員を務めました。9名の女性委員で「農業農村の活性化」をテーマに検討し、知事に提言書を手渡しました。「自分が知らないと言言できない」との思いで、県から送られてくる多くの資料を読んで知識を増やしていきました。「委員には、農業の従事者だけでなく、自営業、主婦などいろいろな立場の人が集まったので、とても勉強になった」と佐藤さんは話します。

積極的に活動を行う背景には、「自分だけでなく、みんなで元気にやっていけたらいいな」という思いがあります。今後は、仲間みんなで、農業が伸びていけるように頑張り、それを楽しみながらできたら最高だと思います。

後輩へのメッセージ 前向きで、へこたれないことが大事。分からないことがあれば、一人で悩まないで実際にやっている人に聞いてみるのが一番です。(農業なら、県の普及指導員の方と知り合いになるのがお勧め)そして、考えるだけでなく実行してみてください。



Vol.43以前のインタビューは、やまなし女性の応援サイト
<http://www.pref.yamanashi.jp/challenge/interviewlist.php> でご確認ください。

やまなし女性の知恵委員会が知事へ提案書を手渡しました。

やまなし女性の知恵委員会が知事へ提案書を手渡しました。

女性の知恵と感性を県政へ活かす「やまなし女性の知恵委員会」は、2つのテーマに分かれ、検討会を3回開催してきました。その検討結果をまとめ、10月27日、知事へ提案書を手渡し、活発な意見交換を行いました。

提案書

環境対策班「未来の山梨に、今私たちの出来ること～地球にも人にも優しい社会づくり～」

観光の振興班「みんな、やまなし観光大使」



内閣府主催・男女共同参画ヤングリーダー会議に参加しました!

昨年10月に開催され、男女共同参画推進のための講義や班別討議が行われました。

『男女共同参画ヤングリーダー会議』は内閣府が開催し、全国各地から、近い将来地域のリーダーとして活躍が期待される男女を招き、男女共同参画に関する施策の説明や意見交換等を行うものです。

大澤美保子さん（山梨市男女共同参画推進委員 山梨市男女共同参画推進リーダー）

10月30日、31日、国立オリンピック記念センターに全国から61名が集結し、ヤングリーダー会議は開催されました。「ワーク・ライフ・バランス」の推進についての説明後、本県出身の立教大学教授萩原なつ子先生によるパワー溢れるご講演で、やや緊張気味だった場内が、すっかり明るく和やかな雰囲気になりました。「意識を変える 固定観念を取り払う チェンジ」を胸に、別室での班別討議に向かう足取りも、皆、軽やかでした。

私は「女性の活躍の推進」の班で、お世辞にも「ヤング」とは言えない私を10名のリーダー達が温かく迎えてくださいました。討議は、自己紹介を兼ねた各自の活動状況、この班を選んだ理由、「女性の活躍の促進」を阻む問題点、問題点を解決するにはどうしたらよいかの4点について各自が発言することから始め、意見が出揃ったところで、それらをライフイベントに沿って整理するに至りました。その結果、何よりも必要なのは、正に、個々の意識改革であることを再認識させられました。また、2日間にわたる討議では、11名が全く違う生活環境やキャリアの持ち主ゆえに、違った観点から意見を出し合うことができ、実に新鮮で、熱く、お互い学ぶことが多い充実したものでした。



大澤美保子さん（後列中央）

全体会では、班別討議結果の発表後、小淵優子内閣府特命担当大臣に、各班の代表者たちがそれぞれの結果を報告し、会議は終了しました。この2日間は、私の推進活動のみならず、私の生活そのものにパワーを吹き込んでくれました。この貴重な機会を与えてくださったことに心から感謝するとともに、この経験を自分の様々な活動に活かしていきたいと思えます。

ぴゅあ特集

— 1年を振り返って —

ぴゅあ

ぴゅあ総合

パートナーシップセミナー

12/2 「ステキ家族のつくり方」

講師：平木典子さん（東京福祉大学大学院教授）



DVや児童虐待防止には、日頃から家族の望ましい人間関係を築くことが大切であることを学びました。

市民企画講座

10/4 男の料理教室 企画：うまい甲斐

講師：向山美和子さん（料理教室主宰）



料理をすることがこんなに頭と体を使うことだとは思いませんでした。今後も続けてみたいです。（50歳代男性）

エンパワーメントセミナー

「やまなしの女性史を学ぶ」

10/28

『明治・大正期の「製糸工女」たち』

講師：池田政子さん（山梨県立大学教授）



12/6

『樋口一葉「にぎりえ」と明治の女性』

講師：岡野幸江さん（法政大学・大東文化大学非常勤講師）



出前講座

56の出前講座を実施しました

12/9

「結婚相談員のスキルアップ」

講師：岡林春雄さん（山梨大学教育人間科学部教授）



1/17

「元気な地域をつくる」

講師：萩原なつ子さん（立教大学教授）



ぴゅあ総合フェスタ2008

ぴゅあでつながる! 素敵な女と男 輝く未来

▼平成20年9月27日・28日

記念講演会『女と男 素敵に編みましょう! 心と心』

編み物を仕事にするまでの経緯や生き方についてなど、大変興味深いお話でした。また、指編みも指導して下さいました



講師：広瀬光治さん（日本編物文化協会副会長）

パフォーマンスメッセ2008

参加団体



男女共同参画をテーマにした幅広いパフォーマンスに感動しました。皆さんの活躍ぶりが素晴らしかったです!

（40歳代女性）

世代を超えて多くの人々が集いました!

親子でenjoy!

大勢の親子連れで“親子ふれあいひろば”は大賑わい!



竹細工でてっぽうをつくろう!



きらきらしゃぼん玉をつくろう!

ワークショップ

「憲法しゃべり場」～憲法についてみんなで考えよう～



山梨学院大学 山内幸雄ゼミのみなさん



ぴゅあ 峡南

パートナーシップセミナー

1/29

「元気になる介護の話」

講師：高口光子さん
（介護老人保健施設
「鶴舞乃城」看護部長）

介護をする側とされる側
ストレスを残さない介護を



8/10

「パパと
チャレンジクッキング」

講師：数野浩司さん
（身延高校教諭）



エンパワーメントセミナー

9/25

「歴史に学ぶ女性の生き方
～天璋院篤姫～」

講師：江宮隆之さん
（歴史作家）



人の心を惹きつける
篤姫の生き方に学ぶ。

6/8 DIY入門

「プランターを作って
ガーデニング」

講師：(株)エンチャー
スタッフ



市民企画講座

1/17 アンサンブルコンサート

企画：南部町吹奏楽部顧問
演奏：南部町の中学校吹奏楽部員と顧問



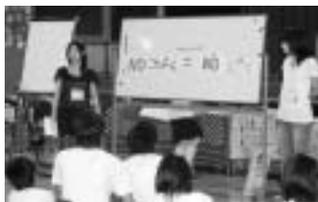
素敵な演奏会で、家
族でとてもいい時間
が過ごせました。今
夜は家族の会話も弾
みそうです。
（40代男性）

出前講座

9/3

「自分の体の主人公になろう
～ピアカウンセリング～」

講師：伏見正江さんと看護学部学生
（山梨県立大学看護学部准教授）



1/19

「歌って、笑って
元気いっぱいになる講座」

講師：木内貴子さん
長洞まゆさん



ぴゅあ 峡南フェスタ2008

一人ひとりが輝ける 調和のとれた仕事と生活

▼平成20年11月15日

記念講演会

『きっと毎日が楽しくなる！心地いい家族のカタチ』



講師：スーパー主夫 山田亮さん

「人」字型人間関係から
「M」字型人間関係へ



活動ひろば

参加5団体 それぞれの団体が、峡南地域の男女
共同参画推進に向けて活動しています。



身延町の企業は今
男女共同参画の取り組み



地域に伝わる民話朗読劇

会食ひろば



高校生、大学生も参加

体験ひろば



太極拳体験

お祭りひろば



ミニコンサート
フルートとピアノ演奏



利用団体の手作り作品

ぴゅあ富士

パートナーシップセミナー

6/22

対談「ベストパートナー」

講師：澤田洋一さん
澤田請子さん



お互いができることはしながら、上手に生活している素敵なご夫婦だなと思いました。私も思いやりを忘れず、素敵な夫婦になれるよう努力したいと思いました。
(30代・女性)

エンパワーメントセミナー

9/17・26、11/19・26

「布ぞうり作り
～健康的なエコライフを～」

講師：小佐野ささ子さん
在原勝子さん、和光智子さん



6月も予定しています。

市民企画講座

12/3・4

「ベビーとママのための
アロマ・ストレッチとマッサージ」

講師：米澤はるかさん
(アロマコーディネーター)



出前講座

12/7 於：エポックホール

「我が家から地域から、
協働で拓こう共同参画
～今こそあなたの行動する
勇気を社会は求めている」

講師：飯窪さかえさん
(男女共同参画推進センター運営協議会委員)



ぴゅあ富士 フェスティバル2008

聞いてなっとく 知ってなっとく 語ってなっとく 男女共同参画社会 ～広がるほほえみの輪～

▼平成20年10月18日・19日

講演「私もあなたもイキイキ生きる」



講師：金香百合さん
(HEALホリスティック教育研究所長)

ミニコンサート



展示



フォーラム



バザー



活動発表



市町村の男女共同参画推進委員会、推進リーダー等が中心となり、寸劇やワークショップで交流と学習を深めました。

ワークショップ



県からお知らせ

男女共同参画推進センターは 本年4月から指定管理者制度を導入します

県では、選定委員会による選定と議会の議決を経て、財団法人やまなし文化学習協会を男女共同参画推進センターの指定管理者として指定し、平成21年4月から5年間、施設の管理運営を委託することとしました。

管理運営については委託しますが、男女共同参画推進センターは県の条例に基づく「県有施設」であり、男女共同参画を推進するための拠点施設として、今までどおり施設や相談窓口の利用をはじめ、センターの主催する講座を受講していただくことができます。

今後とも、指定管理者とともに、質の高いサービスの提供に努めて参りますので、施設の管理運営にご理解とご協力をお願いします。

「男女いきいき・輝き宣言企業」を募集しています

「男女いきいき・輝き宣言企業」として、その活動を県のホームページなどで広く紹介します。

次のいずれかに取り組んでいる、又は、取り組もうとすることを宣言する企業について、「男女いきいき・輝き宣言企業」として登録します。

- 1 職場での男女共同参画推進のための環境整備
- 2 仕事と家庭、地域活動等が両立できるようにするための取組
- 3 女性の能力を活かすための取組
- 4 セクシャル・ハラスメント防止の取組

詳細は、県男女共同参画課ホームページでご確認ください。

▶ <http://www.pref.yamanashi.jp/danjo/>



編集後記

早いもので、今年度も残りわずかとなりました。今回は、2ページから4ページに「やまなし女性のチャレンジ・シンポジウム」について、掲載しました。シンポジウムで皆さんのお話を伺っていて、第59号に掲載した萩原なつ子教授の講演が思い出されました。「パニックゾーンに足を踏み入れよう!」「向かっていく。やってみる。とにかく行動する。」「ノットワーキング 人と人をコーディネートする力、周りの人の力を見出し、必要なときに、人と人とを結ぶ」等の萩原教授の言葉が浮かび、相通じるものがありました。

「チャレンジする」「一步踏み出す」には、勇気と熱い思いが必要ですが、そのきっかけはどこにでもあり、身近なところから実践は始まるものだと思います。

編集・発行

山梨県男女共同参画課

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 Tel. 055-223-1358 E-mail : danjo@pref.yamanashi.lg.jp

山梨県立男女共同参画推進センター

●ぴゅあ総合 : 〒400-0862 甲府市朝気1-2-2 Tel. 055-235-4171

●ぴゅあ峡南 : 〒409-2305 南巨摩郡南部町内船9353-2 Tel. 0556-64-4777

●ぴゅあ富士 : 〒402-0052 都留市中央3-9-3 Tel. 0554-45-1666